

世界農業遺産 「能登の里山里海」認定5周年記念シンポジウム

日時：平成28年5月23日(月)13:30-16:30

会場：加賀屋あへの風 奉燈の間

主催：国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
(UNU-IAS OUIK)

共催：世界農業遺産活用実行委員会、能登地域GIAHS推進協議会

趣旨：今年是世界農業遺産「能登の里山里海」の認定から5周年を迎え、能登の里海里山を保全活用してゆくアクションプランの見直しも行われています。認定からこれまでの経緯と、さまざまな取組の成果を踏まえ、能登地域の方々とともに、「地域のプラットフォーム」をキーワードにこれからの新たな5年に向けた可能性や展望を議論する場といたします。



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS



プログラム

13:30 開会

13:30-13:45 開会挨拶 渡辺 綱男 国連大学IAS-OUIK所長
来賓挨拶 竹中 博康 石川県副知事
来賓挨拶 柏原 卓司 農林水産省北陸農政局次長

13:45-14:30 基調講演 武内 和彦 国連大学上級副学長
「能登の里山里海のこれまでとこれからの可能性」

14:30-14:50 コーヒー・ブレイク

14:50-16:20 パネル・ディスカッション
「世界農業遺産を能登のプラットフォームにするために」
コーディネーター 渡辺綱男 国連大学IAS-OUIK所長

パネリスト

山下 博之 輪島市交流政策部長・能登地域GIAHS推進協議会事務局
長瀬 清隆 能登米生産者協議会会長
森山 明能 株式会社御祓川
大西 友世 珠洲市まちづくり支援員
イヴォーン・ユー 国連大学IAS-OUIK研究員

16:20-16:30 閉会挨拶 中村 浩二 金沢大学客員教授

16:30 閉会

